

江戸の面影

The Nostalgic Images of Edo

浮世絵は何を描いてきたのか

2014年

1月25日(土)～

3月2日(日)

開館時間: 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)

休館日: 2月3日(月)および2月10日(月)

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

※展示期間の記載のないものは全会期中で展示します。

※都合により出品作品は一部変更することがあります。

※出品番号と展示順が異なる場合があります。

*はページ替え、または巻替え

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	展示期間				
						1/25-2/2	2/4-3/9	2/11-2/16	2/17-2/23	2/24-3/2
プロローグ 江戸の繁栄										
1	鍛形蕙斎	東都繁昌図巻	絹本着色 1巻	享和3年(1803)	千葉市美術館 西谷コレクション	○	○	○	○	○
2	菱川師宣	『江戸雀』	墨摺名所記 12巻合1冊	延宝5年(1677)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
3	鳥文斎栄之	吉野丸船遊び	大判錦絵 5枚続	寛政(1789-1801) 前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
4	溪斎英泉	「江戸八景 両国橋の夕照」	大判錦絵	天保14-弘化3年 (1843-46)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
5	歌川広重	『江都八景』	絹本着色 1帖	安政元年(1854)頃	那珂川町馬頭広重美術館	○	* ○	* ○	* ○	* ○
6	歌川広重	「名所江戸百景 両国花火」	大判錦絵	安政5年(1858)	東京藝術大学	○	○	○		
7	歌川広重	「名所江戸百景 両国花火」	大判錦絵	安政5年(1858)	神奈川県立歴史博物館				○	○
8	五雲亭貞秀	「東都両国ばし夏景色」	大判錦絵 3枚続	安政6年(1859)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
9	北尾政美	『江都名所図会』	彩色摺折本 1帖	天明5年(1785)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	○	○	○
10	葛飾北斎	『東都名所一覽』	彩色摺絵入狂歌本 下巻1冊	寛政12年(1800)	千葉市美術館	○	○	* ○	○	○
11	葛飾北斎	『東都勝景一覽』	彩色摺絵入狂歌本 2冊	寛政12年(1800)の 再版	千葉市美術館	○	○	* ○	○	○
12	歌川広重、 三代歌川豊国、 歌川国芳	『狂歌東都花日千両』	彩色摺絵入狂歌本 1帖	嘉永6年(1853)	公益財団法人 平木浮世絵財団	○	○	* ○	○	○
第一章 吉原の粋 — 四民のいっち上にいてもてぬなり										
13	鳥文斎栄之	三福神吉原通い図巻	絹本着色 1巻	文化期(1804-18)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
14	葛飾北斎	「馬尽 轡町」	色紙判摺物	文政5年(1822)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
15	歌川広重	「名所江戸百景 よし原日本堤」	大判錦絵	安政4年(1857)	東京藝術大学			○	○	○
16	葛飾北斎	「百人一首 うばがえ説 藤原道信朝臣」	大判錦絵	天保6年(1835)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
17	歌川国貞	桜下吉原伸之町賑之図	紙本着色 1巻	文化(1804-18)後期	川崎・砂子の里資料館	○	○	* ○	○	○
18	歌川広重	「東都名所 吉原伸之町夜桜」	大判錦絵	天保期(1830-44)	公益財団法人 平木浮世絵財団			○	○	○
19	歌川国貞	「北廓月の夜桜」	大判錦絵	天保(1830-44)中期	神奈川県立 歴史博物館	○	○			
20	三代歌川豊国	「当世美人揃」	大判錦絵 3枚続	安政6年(1859)	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
21	鈴木春信	「風流江戸八景 待乳山の暮雪」	中判錦絵	明和5年(1768)	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
22	鈴木春信	三十六歌仙「藤原仲文」	中判錦絵	明和4-5年(1767- 68)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
23	鈴木春信	百人一首「僧正遍昭」	中判錦絵	明和4-5年(1767- 68)頃	川崎・砂子の里資料館				○	○
24	鈴木春信	『絵本青楼美人合』	彩色摺絵本 5巻のうち第4巻	明和7年(1770)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	* ○	* ○	* ○	* ○

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	1/25- 2/2	2/4- 3/9	2/11- 2/16	2/17- 2/23	2/24- 3/2
25	北尾政演	『吉原傾城新美人合自筆鏡』	彩色摺画帖 1帖	天明4年(1784)	千葉市美術館	○	* ○	* ○	* ○	* ○
26	磯田湖龍齋	遊戯図	絹本着色 1幅	天明期(1781-89)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
27	磯田湖龍齋	「雛形若菜の初模様 角玉屋内 みやと」	大判錦絵	安永4年(1775)頃	神奈川県立歴史博物館	○	○	○		
28	磯田湖龍齋	「雛形若菜の初模様 岡本屋内 巻の尾 すまの あかし」	大判錦絵	安永4年(1775)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
29	勝川春潮	日本堤遊歩	大判錦絵 3枚続	天明(1781-89)後期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
30	喜多川歌麿	「青楼七小町 玉屋内 花紫 せきや てりは」	大判錦絵	寛政6-7年 (1794-95)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
31	喜多川歌麿	積物前の遊女	大判錦絵 3枚続	寛政7年(1795)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
32	喜多川歌麿	見立邯鄲	大判錦絵	寛政7-8年 (1795-96)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
33	喜多川歌麿	『青楼絵本年中行事』	彩色摺絵本 2冊	享和4年(1804)	千葉市美術館	○	○	* ○	○	○
34	喜多川菊麿	「浅草観音奉掛額之図 扇屋内 瀧川」	大判錦絵 3枚続のうち 左	寛政12年(1800)	神奈川県立歴史博物館	○	○	○		
35	喜多川喜久麿	十返舎一九の書画会	大判錦絵	享和2-4年(1802- 04)	東京国立博物館				○	○
36	重要文化財 鳥文齋栄之	「青楼芸者撰 いつ花 おはね おふく いつとみ」	大判錦絵 3枚続	寛政(1789-1801) 中期	東京国立博物館		○	○	○	○
37	菊川英山	花魁図	絹本着色 1幅	文化期(1804-18)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
38	歌川国貞	花魁図	絹本着色 1幅	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
39	魚屋北溪	「宝合 右三番 虎の皮」	色紙判摺物	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
40	溪斎英泉	「姿老屋楼上下之図」	大判錦絵 3枚続	文政11年(1828)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
41	溪斎英泉	「契情道中双嬢 坂の下 見立よしはら 五十三つみ 佐野松屋内 桂木」	大判錦絵	文政8年(1825)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
42	溪斎英泉	「契情道中双嬢 せう野 見立よしはら 五十三つみ 和泉屋内 泉州」	大判錦絵	文政8年(1825)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
43	溪斎英泉	「契情道中双嬢 大津 見立よしはら 五十三つみ 佐野松屋内 大里」	大判錦絵	文政8年(1825)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
44	溪斎英泉	「契情道中双嬢 見つけ 見立よしはら 五十三つみ 倉田屋内 佐多」	大判錦絵	文政8年(1825)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
第二章 江戸の盛り場 — 橋町の踊り子と辰巳芸者										
45	磯田湖龍齋	「風流人倫見立八景 おどり子のきはん」	中判錦絵	明和(1764-72)末- 安永(1772-81)初期	川崎・砂子の里資料館	○	○			
46	重要美術品 磯 田湖龍齋	「今様芸者風俗」たち話	間判錦絵	安永(1772-81)中期	公益財団法人 平木浮世絵財団			○	○	○
47	北尾政演	「当世両国八景 薬研堀夕陽」	中判錦絵	天明(1781-89)前期	東京都江戸東京博物館			○	○	○
48	重要美術品 鳥居清長	日傘をさす芸者	柱絵判錦絵	天明(1781-89)前期	公益財団法人 平木浮世絵財団	○	○			
49	鳥居清長	「茶見世十景 両国」	中判錦絵	天明3-4年 (1783-84)頃	東京国立博物館			○	○	○
50	鳥居清長	『絵本物見岡』	墨摺絵本 合1冊	天明5年(1785)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
51	鳥居清長	富本豊前太夫とその弟子	大判錦絵	天明3-4年 (1783-84)頃	国立劇場	○	○	○	○	○
52	重要美術品 窪俊満	夜景内外の図	大判錦絵 3枚続	天明(1781-89)後期	東京国立博物館	○	○	○		
53	咫鳩齋栄里	芸妓図	紙本着色 1幅	寛政(1789-1801) 後期	板橋区立美術館	○	○	○	○	○
54	歌川豊広	橋上の二美人図	絹本着色 1幅	寛政(1789-1801) 後期	板橋区立美術館	○	○	○	○	○
55	溪斎英泉	初夏の雨	大判錦絵 3枚続	文政(1818-30)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
56	溪斎英泉	「江戸名物尽 曲亭馬琴著述の物の本」	大判錦絵	文政(1818-30)中期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
57	歌川国芳	「東都名所 両国柳ばし」	大判錦絵	天保(1830-44)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
58	鳥居清長	「当世遊里美人合 多通美」	大判錦絵	天明(1781-89)前期	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
59	鳥居清長	「当世遊里美人合 多通美」	大判錦絵	天明(1781-89)前期	川崎・砂子の里資料館	○	○			
60	喜多川歌麿	「高名美人六家撰 辰巳路考」	大判錦絵	寛政(1789-1801) 中期	東京藝術大学			○	○	○
61	窪はつ	新年の宴席	9つ切判摺物	寛政11年(1799)	千葉市美術館	○	○	○	○	○

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	1/25- 2/2	2/4- 3/9	2/11- 2/16	2/17- 2/23	2/24- 3/2
62	歌川国貞	深川の芸妓と仲居	9つ切判摺物	文化5年(1808)	町田市立国際版画美術館	○	○	○	○	○
63	二代歌川豊国	夜の芸者	色紙判摺物 3枚続の左右	文政(1818-30)後期- 天保(1830-44)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
64	溪斎英泉	「辰巳風そく道のかきから」帯結び	大判錦絵	文政(1818-30)後期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
65	溪斎英泉	夜の梅と二芸者	色紙判摺物 2枚続の左	文政(1818-30)後期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
66	溪斎英泉	「江戸名所仇競 富岡の牡丹」	大判錦絵	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
67	歌川広重	「江戸 高名会亭尽 両国」青柳	大判錦絵	天保(1830-44)後期	国立歴史民俗博物館	○	○	○	○	○
68	歌川広重	「江戸 高名会亭尽 深川八幡宮」平清	大判錦絵	天保(1830-44)後期	国立歴史民俗博物館	○	○	○	○	○
69	勝川春潮	三囲詣	柱絵判錦絵	天明(1781-89)後期	川崎・砂子の里資料館	○	○	○		
70	溪斎英泉	墨堤桜下の二芸者	色紙判摺物	文政(1818-30)中期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
71	溪斎英泉	「美人料理通 向島 武蔵屋」	大判錦絵	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
72	溪斎英泉	「当世名物鹿子 隅田堤のむしの音」	大判錦絵	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
73	歌川広重	「江戸 高名会亭尽 牛嶋」武蔵屋	大判錦絵	天保(1830-44)後期	国立歴史民俗博物館	○	○	○	○	○
74	歌川広重	「江戸 高名会亭尽 向嶋之図」平岩	大判錦絵	天保(1830-44)後期	国立歴史民俗博物館	○	○	○	○	○
75	歌川広重	墨堤二美人道通図	絹本着色 1幅	嘉永期(1848-54) -安政5年(1858)	那珂川町馬頭広重美術館	○	○	○	○	○
76	北尾重政	「品川君姿八景 汐干の晴嵐」	大判錦絵	安永期(1772-81)	東京国立博物館	○	○			
77	北尾重政	「品川君姿八景 入船の夕照」	大判錦絵	安永期(1772-81)	東京国立博物館			○	○	○
78	鳥居清長	「美南見十二候」六月	大判錦絵 2枚続	天明4年(1784)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
79	鳥居清長	「美南見十二候」九月	大判錦絵	天明4年(1784)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
80	鳥文斎栄之	品川青楼遊宴図	大判錦絵 3枚続	寛政(1789-1801) 初期	サントリー美術館	○	○			
81	重要美術品 歌川豊国	品川座敷遊興の図	大判錦絵 3枚続	寛政(1789-1801) 中期	東京国立博物館			○	○	○
82	鳥居清長	中洲の芸者	柱絵判錦絵	天明(1781-89)前期	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
83	重要美術品 鳥居清長	舟を待つ芸者と仲居	柱絵判錦絵	天明(1781-89)前期	公益財団法人 平木浮世絵財団	○	○	○		
84	北尾重政	「東西南北之美人 西方乃美人 堺町 橘屋内 三喜蔵 天王子屋内 松之丞」	大判錦絵	安永期(1772-81)	東京国立博物館				○	○
85	窪俊満	「橘屋内 芳沢三喜蔵 同 芳沢銀蔵 駿河屋内 ふじ村亀三郎」	大判錦絵	安永期(1772-81)	東京国立博物館	○	○	○		
86	北尾政演	「当世美人色競 山下花」	大判錦絵	安永期(1772-81)	東京国立博物館				○	○
87	歌川国貞	「江戸自慢 花屋敷の七草」	大判錦絵	文政2-4年 (1819-21)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
88	歌川国芳	「風俗女水滸伝百八番之内」屋根船	色紙判摺物	文政(1818-30)末頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
第三章 江戸娘の闊達さ										
89	鳥居清長	山王祭礼図	大判錦絵 3枚続	天明8年(1788)頃	回向院	○	○	○		
90	鳥居清長	「茶見世十景 神明」	中判錦絵	天明3-4年 (1783-84)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
91	喜多川歌麿	鞠と扇を持つ美人	大判錦絵	寛政9年(1797)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
92	喜多川歌麿	「教訓親の目鑑 俗ニ云 ばくれん」	大判錦絵	享和2年(1802)頃	慶應義塾	○				
93	喜多川歌麿	「教訓親の目鑑 理口者」	大判錦絵	享和2年(1802)頃	慶應義塾		○	○		
94	喜多川歌麿	「教訓親の目鑑 もの好」	大判錦絵	享和2年(1802)頃	慶應義塾		○	○		
95	喜多川歌麿	「教訓親の目鑑 俗ニ云 ぐうたら兵衛」	大判錦絵	享和2年(1802)頃	慶應義塾				○	○
96	喜多川歌麿	「咲分ケ言葉の花 おしゃべり にくまれ盛」	大判錦絵	享和2年(1802)頃	慶應義塾				○	○
97	勝川春章	婦人風俗十二か月 雛祭	紙本着色 1幅	天明(1781-89)後期 -寛政(1789-1801) 前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
98	溪斎英泉	「今様美人拾二景 深川すさき弁財天 おてんばそう」	大判錦絵	文政5-6年 (1822-23)頃	千葉市美術館			○	○	○
99	溪斎英泉	「御利生結ぶの縁日 白銀台町 清正公」	大判錦絵	文政7年(1824)頃	千葉市美術館	○	○			
100	溪斎英泉	「御利生結ぶの縁日 薬研堀 金比羅」	大判錦絵	文政7年(1824)頃	千葉市美術館			○	○	○

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	1/25- 2/2	2/4- 3/9	2/11- 2/16	2/17- 2/23	2/24- 3/2
101	溪斎英泉	「当世会席尽 日本橋 恵比須庵」	大判錦絵	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○			
102	溪斎英泉	「当世会席尽 司馬神明 車屋」	大判錦絵	天保期(1830-44)	千葉市美術館			○	○	○
103	溪斎英泉	「三世相逢生競 烟草の火性 仇な気性 富貴草」	大判錦絵	天保(1830-44)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
104	歌川国貞	「美人合 春曙猫と娘」	大判錦絵	文政期(1818-30)	慶應義塾	○				
105	歌川国芳	「時世粧菊揃 似合うかときく」	大判錦絵	天保期(1830-44)	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
106	歌川国芳	「時世粧菊揃 こどもがあるかときく」	大判錦絵	天保期(1830-44)	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
107	鈴木春信	団子を持つ笠森おせん	中判錦絵	明和5-6年 (1768-69)	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
108	鈴木春信	『壳飴土平伝』	墨摺絵入本 1冊	明和6年(1769)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
109	喜多川歌麿	「当時三美人 富本豊ひな 難波屋きた 高しまひさ」	間判錦絵	寛政5年(1793)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
110	喜多川歌麿	谷風と金太郎の首引き	小奉書全紙判錦絵	寛政5年(1793)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
111	喜多川歌麿	江戸高名美人 「木挽町新やしき 小伊勢屋おちゑ」	大判錦絵	寛政4-5年 (1792-93)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
112	喜多川歌麿	「菊もとお半」	間判錦絵	寛政5-6年 (1793-94)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
113	鳥文斎栄之	見立忠臣蔵七段目	大判錦絵	寛政4-5年 (1792-93)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
参考 出品1	速水春暁斎	『都風俗化粧秘伝』	墨摺絵本 3冊	文化1年(1813)	ポーラ文化研究所	○	○	○	○	○
第四章 歌舞伎への熱狂と団十郎最層										
114	歌川広重	「東都名所二丁町芝居繁栄之図」	大判錦絵 3枚続	天保12年(1841)頃	東京都江戸東京博物館	○	○	○	○	2/25 まで
115	歌川豊国	「芝居大繁昌之図」	大判錦絵 3枚続	文化14年(1817)	東京都江戸東京博物館	○	○			
116	三代歌川豊国	「大芝居繁栄之図」	大判錦絵 3枚続	安政6年(1859)	東京都江戸東京博物館			○	○	○
117	歌川国貞	「神楽月 顔見せの光景」	大判錦絵 3枚続	文化12-14年 (1815-17)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
118	歌川国貞	「中村座三階図」	大判錦絵 3枚続	文政7年(1824)頃	国立劇場	○	○	○	○	○
119	魚屋北溪	大道具の準備	色紙判摺物	文化14年(1817)	千葉市美術館	○	○			
120	歌川広重	「名所江戸百景 猿わか町よるの景」	大判錦絵	安政3年(1856)	神奈川県立歴史博物館			○	○	○
121	鳥居清倍	二代目市川団十郎の虎退治	大々判丹絵	正徳3年(1713)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
122	三代歌川豊国	市川団十郎の代々	大判錦絵 3枚続	嘉永3-4年 (1850-51)	国立劇場	○	○	○	○	○
123	歌川豊国	「元祖才牛団十郎」	色紙判摺物	天保3年(1832)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
124	歌川豊国	「四代目木場団十郎」	色紙判摺物	天保3年(1832)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
125	勝川春好	五代目市川団十郎の暫	大判錦絵	天明(1781-89)末期 -寛政(1789-1801) 初期	慶應義塾				○	○
126	勝川春章	五代目市川団十郎の滝口競と 初代中村仲蔵の平清盛	細判錦絵	明和7年(1770)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
127	鳥居清長	五代目市川団十郎と遊女	間判錦絵	天明(1781-89)初期	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
128	三代歌川豊国	「五代目 市川団十郎 景清」	大判錦絵	文久3年(1863)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
129	北尾政演	『吾妻曲狂歌文庫』	彩色摺絵入狂歌本 1冊	天明6年(1786)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	○	○	○
130	北尾政演	『百人一首 古今狂歌袋』	彩色摺絵入狂歌本 1冊	天明7年(1787)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	○	○	○
131	立川焉馬編/ 鳥居清長	『御江戸餅蝦』	劇書 1冊	寛政4年(1792)	千葉市美術館 溝口康麿コレクション	○	○	○	○	○
132	立川焉馬編/ 鳥居清長	『美満寿組入』	劇書 1冊	寛政9年(1797)	千葉市美術館 溝口康麿コレクション	○	○	○	○	○
133	立川焉馬編/ 鳥居清長	『市川白猿追善数珠親玉』	劇書 1冊	文化4年(1807)	千葉市美術館 溝口康麿コレクション	○	○	○	○	○
134	千葉県指定有形 民俗文化財 歌川国貞	七代目市川団十郎の矢の根五郎	板地着色絵馬額 1面	文政8年(1825)	成田山霊光館	○	○	○	○	○

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	1/25- 2/2	2/4- 3/9	2/11- 2/16	2/17- 2/23	2/24- 3/2
135	千葉県指定有形 民俗文化財 (新川斎)万太郎	七代目市川團十郎の暫	板地着色絵馬額 1面	文政6年(1823)	成田山霊光館	○	○	○	○	○
136	歌川豊国	七代目市川團十郎の芝居姿絵	絹本着色 3幅対	文化10年(1813)	東京都江戸東京博物館	○	○	○	○ 2/25 まで	
137	歌川国貞	「役者はんじ物」七代目市川團十郎	大判錦絵	文化9年(1812)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
138	歌川豊国	七代目市川團十郎の楽屋	色紙判摺物	文政(1818-30)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
139	二代歌川豊国	七代目市川團十郎の景清	8つ切判摺物	文政11年(1828)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
140	魚屋北溪	「三升 家のびい 三番続」	色紙判摺物	文政(1818-30)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
141	歌川広重	七代目市川團十郎の源太と 三代目市川門之助の梅が枝	色紙判摺物	文政4年(1821)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
142	歌川国貞	七代目市川團十郎の渡辺綱	色紙判摺物 2枚続のうち下図	文政(1818-30)初期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
143	岳亭春信	七代目市川團十郎の暫	色紙判摺物	文政6年(1823)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
144	歌川国貞	三代目坂東三津五郎の秩父重忠と 七代目市川團十郎の景清	色紙判摺物 2枚続	文政11年(1828)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
145	三代歌川豊国	「子福長者」	大判錦絵 3枚続	嘉永5年(1852)	国立劇場	○	○	○	○	○
146	歌川国芳	八代目市川團十郎の死絵	大判錦絵 3枚続	嘉永7年(1854)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
147		八代目市川團十郎の死絵	大判錦絵	嘉永7年(1854)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
148		八代目市川團十郎の死絵	大判錦絵	嘉永7年(1854)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
149	三代歌川豊国	「揚巻の助六 (八代目)市川團十郎 三升」	大判錦絵	万延元年(1860)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
150	落合芳幾	「團十郎 ばばア」	大判錦絵	万延元年(1860)	川崎・砂子の里資料館	○	○	○		
151	歌川国貞	『俳優畸人伝』	墨摺絵本初編2巻、 2編2巻4冊	天保4年(1833)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	* ○	○	○
152	歌川国貞・ 魚屋北溪	『俳優三十六花撰』	彩色摺(1部)絵本 1巻1冊	天保6年(1835)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	* ○	○	○
153	歌川国貞	『だてもよう』	彩色摺絵入狂歌本 1冊	嘉永2年(1849)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	* ○	○	○
154	歌川国芳／柴田 是真／山形素真 ／二代烏居清満	『水魚連狂歌双六』	彩色摺絵入狂歌本 1巻1冊折帖	嘉永7年(1854)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	* ○	○	○
155	勝川春章	「東扇」三代目大谷広右衛門	小奉書全紙判錦絵	安永(1772-81)後期- 天明(1781-89)初期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
156	勝川春章	『役者夏の富士』	墨摺絵本 1冊	安永9年(1780)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	* ○	○	○
157	烏居清長	四代目岩井半四郎と遊女	間判錦絵	天明(1781-89)初期	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
158	勝川春好	二代目市川門之助の平野屋徳兵衛 三代目瀬川菊之丞の田舎娘おはつ 四代目岩井半四郎の重井筒の抱え お房	細判錦絵 3枚続	天明4年(1784)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
159	勝川春英	四代目岩井半四郎の「七襲東雛形」	大判錦絵	天明7年(1787)	国立劇場	○	○	○	○	○
160	勝川春英	三代目市川高麗蔵 三代目坂田半五 郎 初代中山富三郎	大判錦絵	寛政5年(1793)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
161	東洲斎写楽	三代目大谷鬼次の江戸兵衛	大判錦絵	寛政6年(1794)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
162	歌川豊国	「役者舞台之姿絵 まさつや」 二代目中村仲蔵の荒巻耳四郎	大判錦絵	寛政6年(1794)	公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保 存財団	○	○	○	○	○
163	勝川春英	二代目沢村宗十郎の加古川本蔵	大判錦絵	寛政7年(1795)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
164	歌川豊国	三代目沢村宗十郎の足利頼兼と 三代目瀬川菊之丞の三浦高尾	大判錦絵 2枚続	寛政7年(1795)	千葉市美術館	○	○			
165	歌川豊国	七代目片岡仁左衛門の伊予の太郎	大判錦絵	寛政8年(1796)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
166	歌川豊国	初代中山富三郎の濡髪小しづか 初代尾上松助の濡髪長五郎 三代目市川高麗蔵の放駒長吉	大判錦絵 3枚続	寛政9年(1797)	千葉市美術館			○	○	○
167	歌川国貞	「早勘平 (三代目)尾上菊五郎」	大判錦絵	文化13年(1816)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
168	歌川国貞	五代目瀬川菊之丞	色紙判摺物	文政3年(1820)	千葉市美術館	○	○	○	○	○

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	1/25- 2/2	2/4- 3/9	2/11- 2/16	2/17- 2/23	2/24- 3/2
169	歌川国貞	三代目坂東三津五郎 二代目岩井条三郎 三代目尾上菊五郎 五代目瀬川菊之丞 七代目市川团十郎	色紙判摺物 5枚続	文政(1818-30)中期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
170	歌川国貞	二代目岩井条三郎の揚巻	色紙判摺物 3枚続の右	文政12-13年 (1829-30)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
171	鳥居清長	三代目瀬川菊之丞	紙本着色 1幅	天明3年(1783)頃	公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団	○	○	○	○	○
172	勝川春好	四代目岩井半四郎の人形遣い図	絹本着色 1幅	天明期(1781-89)	公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団	○	○	○	○	○
173	歌川豊国	曾我の対面 五代目市川团十郎の工藤祐経 三代目瀬川菊之丞の傾城舞鶴 四代目岩井半四郎の曾我五郎	紙本墨画淡彩 1幅	天明9年(1789)	千葉市美術館	○	○			
174	歌川豊広	曾我の対面 三代目沢村宗十郎の曾我十郎 二代目坂東三津五郎の朝比奈 三代目瀬川菊之丞の和田息女虎御前	紙本墨画淡彩 1幅	寛政9年(1797)	千葉市美術館			○	○	○
175	鳥居清長	草摺曳図	板地着色絵馬額 1面	文化8年(1811)	恵俊彦氏	○	○	○	○	○
176	三代歌川豊国	三代目中村歌右衛門七回忌曳幕	麻本着色 1枚	弘化元年(1844)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
177	歌川豊国	『三芝居役者声色 出たようだ』	彩色摺絵本 1巻1冊	文化5年(1808)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	○	○	○
178	歌川国芳／ 三代歌川豊国 ほか	『翫雀追善はなしとり』	彩色摺追善集 2巻2冊	嘉永5年(1852)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	* ○	○	○
179	百川子興	蚊帳二美人	大判錦絵	寛政11-13年 (1799-1801)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
180	三代歌川豊国	「弥生雛次郎」	錦絵团扇 1本	万延元年(1860)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
181	三代歌川豊国	初代中村福助の「左り甚五郎 白拍子 仕蝶」	錦絵团扇 1本	万延元年(1860)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
参考 出品 ²	夜雨庵(七代目 市川团十郎)／ 関文川ほか	『筵猿狂句集』	1巻1冊	天保2年(1831)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	○	○	○
第五章 江戸っ子の好奇心										
182	北尾政美	『来禽図彙』	彩色摺絵本 1冊	寛政2年(1790)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
183	北尾重政	『絵本よつととき』	墨摺絵本 3巻合1冊	安永4年(1775)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
184	歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図(初版)	大判錦絵	安永-天明期 (1772-89)	町田市立国際版画美術館	○	○	○	○	○
185	歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図(後版)	大判錦絵	天保期(1830-44)頃 の摺	町田市立国際版画美術館	○	○	○	○	○
186	葛飾北斎	『東遊』	絵入狂歌本 1冊	寛政11年(1799)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
187	葛飾北斎	『絵本狂歌山満多山』	彩色摺絵入狂歌本 3冊	享和4年(1804)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
188	柳々居辰斎	「歌仙合 わすれ貝」	9つ切判摺物	文化6年(1809)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
189	葛飾北斎	「馬尽 駒菖蒲」	色紙判摺物	文政5年(1822)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
190	溪斎英泉	「隠呼」	大判錦絵	文政(1818-30)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
191	歌川国貞	「紅毛油画 永代橋」	大判錦絵	天保期(1830-44)	川崎・砂子の里資料館	○	○			
192	溪斎英泉	「逢妓八契 富ヶ岡の時雨」	大判錦絵	天保期(1830-44)	神奈川県立歴史博物館			○	○	○
193	落合芳幾	「写真鏡 美人図」	大判錦絵	万延2年(1861)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
194	落合芳幾	「写真鏡 山獵図」	大判錦絵	万延2年(1861)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
195	落合芳幾	「写真鏡 涼岳図」	大判錦絵	万延2年(1861)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
196	落合芳幾	「写真鏡 大象図」	大判錦絵	万延2年(1861)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
第六章 愛しき日常と子どものパラダイス										
197	鈴木春信	「坐舖八景 台子夜雨」	中判錦絵	明和3年(1766)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
198	鈴木春信	「坐舖八景 手拭かけ帰帆」	中判錦絵	明和3年(1766)頃	慶應義塾			○	○	
199	鈴木春信	「坐舖八景 時計の晩鐘」	中判錦絵	明和3年(1766)頃	東京藝術大学	○	○	○		
200	鈴木春信	三十六歌仙「紀友則」	中判錦絵	明和4年(1767)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	1/25- 2/2	2/4- 3/9	2/11- 2/16	2/17- 2/23	2/24- 3/2
201	鈴木春信	蚊帳の母と子	中判錦絵	明和4年(1767)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
202	鈴木春信	一本菊	中判錦絵	明和4年(1767)頃	慶應義塾				○	○
203	鈴木春信	袴着の祝い	中判錦絵	明和5年(1768)頃	川崎・砂子の里資料館	○	○			
204	鈴木春信	「風俗四季歌仙 神楽月」	中判錦絵	明和5年(1768)頃	川崎・砂子の里資料館			○	○	○
205	鈴木春信	『絵本千代松』	墨摺絵本 3冊	明和4年(1767)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
206	鳥居清長	幼子に用を足させる母と洗濯物を干す娘	大判錦絵	安永(1772-81)末期	神奈川県立歴史博物館	○	○	○		
207	鳥居清長	「風俗東之錦」帯解	大判錦絵	天明3-4年(1783-84)頃	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
208	窪俊満	「東都両国名勝 まなべがし」	中判錦絵	天明5年(1785)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
209	勝川春章	婦人風俗十二か月 端午	紙本着色 1幅	天明(1781-89)後期-寛政(1789-1801)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
210	勝川春潮	筋違橋前	大判錦絵 3枚続	寛政(1789-1801)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
211	歌川豊国	上野寛永寺境内	大判錦絵 5枚続	寛政(1789-1801)中期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
212	喜多川歌麿	納涼美人図	絹本着色 1幅	寛政6-7年(1794-95)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
213	喜多川歌麿ほか	『男踏歌』	彩色摺絵入狂歌本 1冊	寛政10年(1798)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
214	葛飾北斎	『絵本隅田川兩岸一覽』	彩色摺絵入狂歌本 3冊	文化期(1804-18)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
215	菊川英山	「風流子宝六歌僊 僧正遍照」	大判錦絵	文化7-8年(1810-11)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
216	歌川国貞	「江戸自慢 五百羅漢施餓鬼」	大判錦絵	文政2-4年(1819-21)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
217	歌川国貞	「江戸自慢 四万六千日」	大判錦絵	文政2-4年(1819-21)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
218	歌川豊国	「今様十二ヶ月 清月之図」	団扇絵判錦絵	文政5年(1822)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
219	葛飾北斎	「元禄歌仙貝合 こかい」	色紙判摺物	文政4年(1821)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
220	蹄斎北馬	三囲神社を望む美人	絹本着色 1幅	文政(1818-30)後期-天保期(1830-44)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
221	溪斎英泉	「御利生結ぶの緑日 芝赤羽根 水天宮」	大判錦絵	文政7年(1824)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
222	溪斎英泉	「諸国名勝くらべむらさきのひともと 下谷山下 奥州郡山」	大判錦絵	文政(1818-30)後期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
223	溪斎英泉	「新吉原年中行事 五月端午 軒の菖蒲 若那屋内 花衣」	大判錦絵	文政(1818-30)後期-天保期(1830-44)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
224	溪斎英泉	「当世名物鹿子 両国橋の花火」	大判錦絵	天保期(1730-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
225	魚屋北溪	節分の豆	色紙判摺物	天保(1830-44)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
226	魚屋北溪	神楽坂の茶屋	色紙判摺物	文政12年(1829)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
227	歌川国芳	「東都名所 かすみが関」	大判錦絵	天保(1830-44)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
第七章 花を愛でる人々										
228	鳥居清長	隅田川桜の景	大判錦絵 5枚続	寛政(1789-1801)中期	公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団	○	○			
229	魚屋北溪	開帳札と芸妓	色紙判摺物	天保4年(1833)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
230	抱亭五清	「東都名物合 隅田川」	色紙判摺物	文化8-9年(1811-12)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
231	溪斎英泉	向島名物「桜もち」と今戸人形	色紙判摺物	文政(1818-30)後期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
232	歌川広重	「名所江戸百景 吾妻橋金龍山遠望」	大判錦絵	天保(1830-44)後期	東京藝術大学			○	○	○
233	鳥居清長	「美南見十二候」三月	大判錦絵 2枚続	天明4年(1784)頃	公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団	○	○	○	○	○
234	勝川春潮	飛鳥山花見	大判錦絵 3枚続	天明(1781-89)後期	東京国立博物館			○	○	○
235	溪斎英泉	「浮世姿 梅屋敷」	大判錦絵	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
236	歌川広重	「東都名所 亀戸梅屋舗ノ図」	大判錦絵	弘化元-2年(1844-45)	平木浮世絵財団				○	○
237	歌川広重	「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」	大判錦絵	安政4年(1857)	神奈川県立歴史博物館	○	○			
238	鳥居清長	「四季八景 清秋落雁」	中判錦絵	安永(1772-81)後期	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○

NO.	作家名	作品名	技法	製作年	所蔵	1/25- 2/2	2/4- 3/9	2/11- 2/16	2/17- 2/23	2/24- 3/2
239	岳亭春信	「花合三番統」	大判錦絵 3枚統	文化(1804-18)末期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
240	葛飾北斎	「馬尽 将棋駒」	色紙判摺物	文政5年(1822)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
241	抱亭五清	「諸芸づくし 碁」	色紙判摺物	文化8-10年 (1811-13)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
242	歌川広重	「名所江戸百景 亀戸天神境内」	大判錦絵	安政3年(1856)	東京藝術大学			○	○	○
243	柳々居辰斎	「歌仙合 梅花貝」	9つ切判摺物	文化6年(1809)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
244	溪斎英泉	「当世名物鹿子 根岸の笹の雪」	大判錦絵	天保(1830-44)前期	千葉市美術館	○	○	○	○	○
245	溪斎英泉	「当世名物鹿子 商人見世の繁昌」	大判錦絵	天保期(1830-44)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
第八章 富士の絶景										
246	歌川広重	「東都名所 日本橋雪中之景」	短冊判錦絵	天保(1830-44)中期	公益財団法人 平木浮世絵財団	○	○	○		
247	溪斎英泉	「江戸八景 日本橋の晴嵐」	大判錦絵	天保14-弘化3年 (1843-46)頃	国立歴史民俗博物館	○	○	○		○
248	窪俊満	三井呉服店之図	絹本淡彩 1幅	文化期(1804-18)頃	公益財団法人 三井文庫	○	○	○	○	○
249	葛飾北斎	「富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図」	大判錦絵	天保2-4年 (1831-33)頃	公益財団法人 三井文庫	○	○	○	○	○
250	歌川国貞	初春の駿河町	大判錦絵 3枚統	天保(1830-44)後期	国立歴史民俗博物館	○	○	○	○	○
251	葛飾北斎	「富嶽三十六景 東都浅草本願寺」	大判錦絵	天保2-4年 (1831-33)頃	神奈川県立歴史博物館	○	○			
252	葛飾北斎	「富嶽三十六景 御厩川岸より 両国橋夕陽見」	大判錦絵	天保2-4年 (1831-33)頃	川崎・砂子の里資料館			○	○	○
253	葛飾北斎	「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」	大判錦絵	天保2-4年 (1831-33)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
254	葛飾北斎	「富嶽三十六景 凱風快晴」	大判錦絵	天保2-4年 (1831-33)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
255	葛飾北斎	『富嶽百景』	墨摺絵本 3冊	天保5-7年 (1834-36)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
256	歌川国芳	「東都富士見三十六景 昌平坂の遠景」	大判錦絵	弘化元年(1844)頃	神奈川県立歴史博物館	○	○	○		
257	歌川国芳	「東都富士見三十六景 隅田堤の夕富士」	大判錦絵	弘化元年(1844)頃	公益財団法人 平木浮世 絵財団				○	○
258	歌川広重	目黒の四季	絹本着色 4幅	嘉永期(1848-54)- 安政5年(1858)頃	公益財団法人 摘水軒記念文化振興財団	○	○	○	○	○
259	溪斎英泉	「契情道中双娘 かめ山 見立よしはら 五十三つみ 若松屋内 花川」	大判錦絵	文政8年(1825)頃	千葉市美術館	○	○	○	○	○
260	溪斎英泉	丑年の縁起物	色紙判摺物	文政12年(1829)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
261	葛飾北斎	「元禄歌仙貝合 ますほ貝」	色紙判摺物	文政4年(1821)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
参考 出品3	河村岷雪	『百富士』	墨摺絵本 4巻4冊	明和4年(1767)	千葉市美術館 ラヴィッツ・ コレクション	○	○	○	○	○
エピローグ 江戸の面影										
262	小林清親	「江戸橋夕暮富士」	大判錦絵	明治12年(1879)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
263	小林清親	「柳島日没」	大判錦絵	明治10-11年 (1877-78)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
264	小林清親	「元柳橋両国遠景」	大判錦絵	明治12年(1879)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
265	小林清親	「駿河町雪」	大判錦絵	明治12年(1879)	霜禮次郎氏	○	○	○	○	○
266	小林清親	「大川岸一之橋遠景」	大判錦絵	明治13年(1880)	町田市立国際版画美術館	○	○	○	○	○
267	小林清親	「千はんくい両国橋」	大判錦絵	明治13年(1880)	町田市立国際版画美術館	○	○	○	○	○
268	小林清親	隅田堤花見図	大判錦絵	明治(1868-1912) 前期	町田市立国際版画美術館	○	○	○	○	○
269	井上安治	「浅草橋夕景」	大判錦絵	明治13年(1880)	町田市立国際版画美術館	○	○	○	○	○
270	ヘレン・ハイド	「The Bath」	多色摺木版画	明治38年(1905)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
271	ヘレン・ハイド	「The Bamboo Fence」	多色摺木版画	明治37年(1904)	千葉市美術館	○	○	○	○	○
272	ジョルジュ・ ピゴー	『Ma-Ta』	銅版画集	明治17年(1884)	千葉市美術館	○	○	○	○	○